



岩田健太郎, 土井朝子(監訳)

「トラベル・アンド・トロピカル・メディシン・マニュアル」

千葉大学医学部附属病院総合診療部

大平 善之

日本の感染症分野の第一人者である岩田健太郎先生と土井朝子先生が監訳された旅行医学、熱帯医学のマニュアルである。旅行医学、熱帯医学それぞれの分野で各種書籍が発行されてきたが、本書のように十分な知識を網羅しつつコンパクトにまとめられた書籍は、少なくとも私自身はお目にかかったことがない。

空の交通網が発達し、海外旅行が日常的になった現代では、誰もが海外へ、しかも先進国だけでなく、発展途上国へも容易に旅行することができる。旅行前にトラベルクリニックを受診して予防接種を受けることや、医師から旅行時の注意事項などのアドバイスを聞くことができればよいが、時間的あるいは地理的な問題(居住地の近くにトラベルクリニックがない)で誰もがそうできるわけではない。むしろ海外旅行が日常的になったからこそ、身近な存在であるプライマリ・ケア医が旅行医学や熱帯医学を学び、旅行前のアドバイスや予防接種などを行う必要性が高まっていると考えられる。また、帰国してから発症する旅行者下痢症などの疾患も潜伏期間を考えると受診するのは身近な医療機関であり、プライマリ・ケア医がそれらに対応できる知識を持っていることが必要であろう。

本書はPART 1からPART 7で構成されている。PART 1では海外旅行前に行うべきアドバイスについて記載されており、続いてPART 2では高山病

や潜水医学、小児や女性、HIV感染者、慢性疾患がある場合など、特定の旅行者に対して行うべきアドバイスが記載されている。疾患の予防だけでなく、犯罪や交通事故に関する記載もあり、旅行医学の奥深さを感じた。PART 3以降では発熱、旅行者下痢症、皮膚病変など海外で感染しやすい疾患について記載されている。どの地域、どのような行為でリスクが高いかなどの疫学情報、症状、検査方法とその感度および特異度、検査時の注意事項が記載されており、診断に有用であると考えられた。また、治療に関しても選択すべき薬剤、代替薬、地域による薬剤耐性、治療期間、フォローアップの方法についても記載があり、この一冊があれば診断から治療まで一通りのことを学べる内容となっている。

このような素晴らしい書籍が日本語で読めることは、多忙な臨床の現場では非常にありがたいし、気軽に読めるという意味でこの分野の専門家でない医師にも学びの機会を広げるものと思われる。参考にするべき書籍、ウェブサイトなども示されており、プライマリ・ケア医が旅行医学、熱帯医学を学ぶための入門書として最適な書籍である。参考書として活用するにも十分な内容を網羅しており、是非、外来の机の上に置いておきたい一冊である。

- A5変/800頁/定価 8,400円(本体 8,000円+税 5%)
2012年/MEDSi (Tel: 03-5804-6051)